

# 2017年3月期 通期 決算説明会資料



2017年6月1日  
株式会社昭文社  
証券コード:9475

# 資料の内容

- |   |                    |        |
|---|--------------------|--------|
| 1 | 2017年3月期 通期 連結決算概要 | P3-11  |
| 2 | 2018年3月期 通期 業績の見通し | P12-15 |
| 3 | 参考資料               | P16-18 |

【本資料の記載数値・内容について】  
百万円未満は切り捨てております。  
%表示は小数第1位未満を四捨五入しております。

【本資料の内容についてのお問い合わせ先】  
株式会社昭文社 取締役兼執行役員管理本部長 大野真哉  
電話 03(3556)8171

# 資料の内容

---

## 1 2017年3月期 通期 連結決算概要

---

## 2 2018年3月期 通期 業績の見通し

## 3 参考資料

# 2017年3月期 通期 連結決算概要

電子売上の売上減少、市販出版物における新刊の出版点数の減少に加え、想定を超える返品の影響を受け、売上高は20.9%の減収。営業・経常・当期純利益のいずれも赤字。

	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期実績	増減額	増減率	2017年3月期 通期予想	増減額 (予想比)
売上高	13,035	10,314	-2,720	-20.9%	11,580	-1,265
営業利益（営業損失） （売上高比、以下同）	306 2.4%	-2,276 -22.1%	-2,583	-	-1,200 -10.4%	-1,076
経常利益（経常損失）	363 2.8%	-2,206 -21.4%	-2,569	-	-1,140 -9.8%	-1,066
親会社株主に帰属する当期純利益 （親会社株主に帰属する当期純損失）	538 4.1%	-3,423 -33.2%	-3,961	-	-1,150 -9.9%	-2,273
1株当たり当期純利益（円） （1株当たり当期純損失）	32.37	-205.46	-237.83	-	-69.02	-

※上記予想は2016年10月28日発表

# 2017年3月期 通期 分類別売上高(前期比較)

市販出版物は、前期にあった新刊シリーズ等の出版がなかったこと、改定版の出版に伴う旧版の入替返品が想定を超えたことにより大幅減収。

	2016年3月期通期		2017年3月期通期		増減額	増減率
	実績	構成比	実績	構成比		
電子売上	3,503	26.9%	2,842	27.6%	-660	-18.9%
手数料収入	48	0.4%	39	0.4%	-8	-17.5%
市販出版物合計	7,950	61.0%	5,876	57.0%	-2,073	-26.1%
地図	3,206	24.6%	2,086	20.2%	-1,120	-34.9%
雑誌	3,281	25.2%	2,876	27.9%	-405	-12.3%
ガイドブック	1,246	9.6%	811	7.9%	-435	-34.9%
実用書	214	1.6%	102	1.0%	-112	-52.2%
特別注文品	732	5.6%	736	7.1%	4	0.6%
広告収入	801	6.1%	818	7.9%	17	2.1%
合計	13,035	100.0%	10,314	100.0%	-2,720	-20.9%

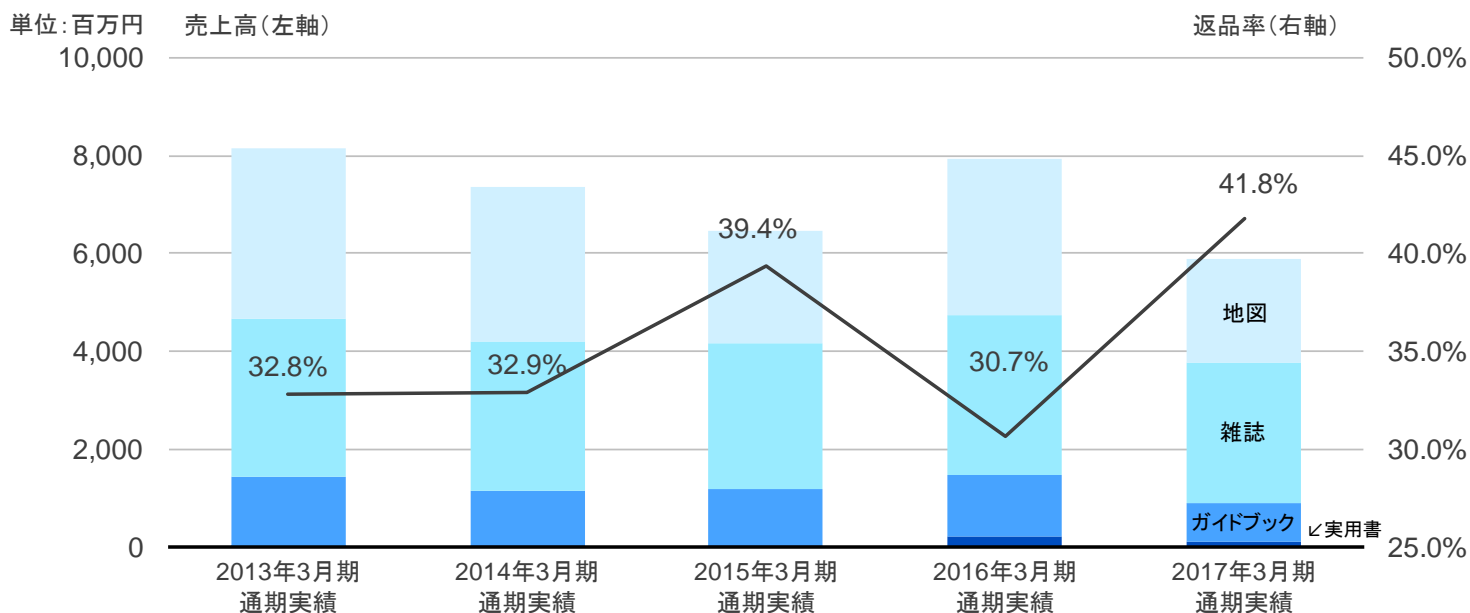
単位:百万円

# 2017年3月期 通期 ハイライト

- 簡易型カーナビゲーション用アプリケーションソフト『マップルナビ』の売上減少に加え、継続的にあった大型案件の失注の影響を大きく受け、電子売上は前期に比べ6億60百万円減少
- 市販出版物は『首都圏発 日帰り大人の小さな旅』等一部のヒット商品があったものの想定を上回る返品があったため、市販出版物は前期に比べ20億73百万円減少
- 当社グループが保有する固定資産について、特別損失として12億3百万円の減損損失を計上
- 2016年11月、モバイル決済事業を日本で展開していくために、QFPay社、株式会社ウィズ・パートナーズとともにQF Pay Japan株式会社を設立
- 2017年3月、株式会社トラベラーズが運営する海外旅行者向けレストラン予約サービス「グルヤク」事業を譲受け

# 2017年3月期 通期 市販出版物売上高・返品率の推移

新刊商品の出版点数が少なかったうえに、改訂商品の入替時に発生する返品が想定を超えたため、市販出版物の売上は前期から大きく減少



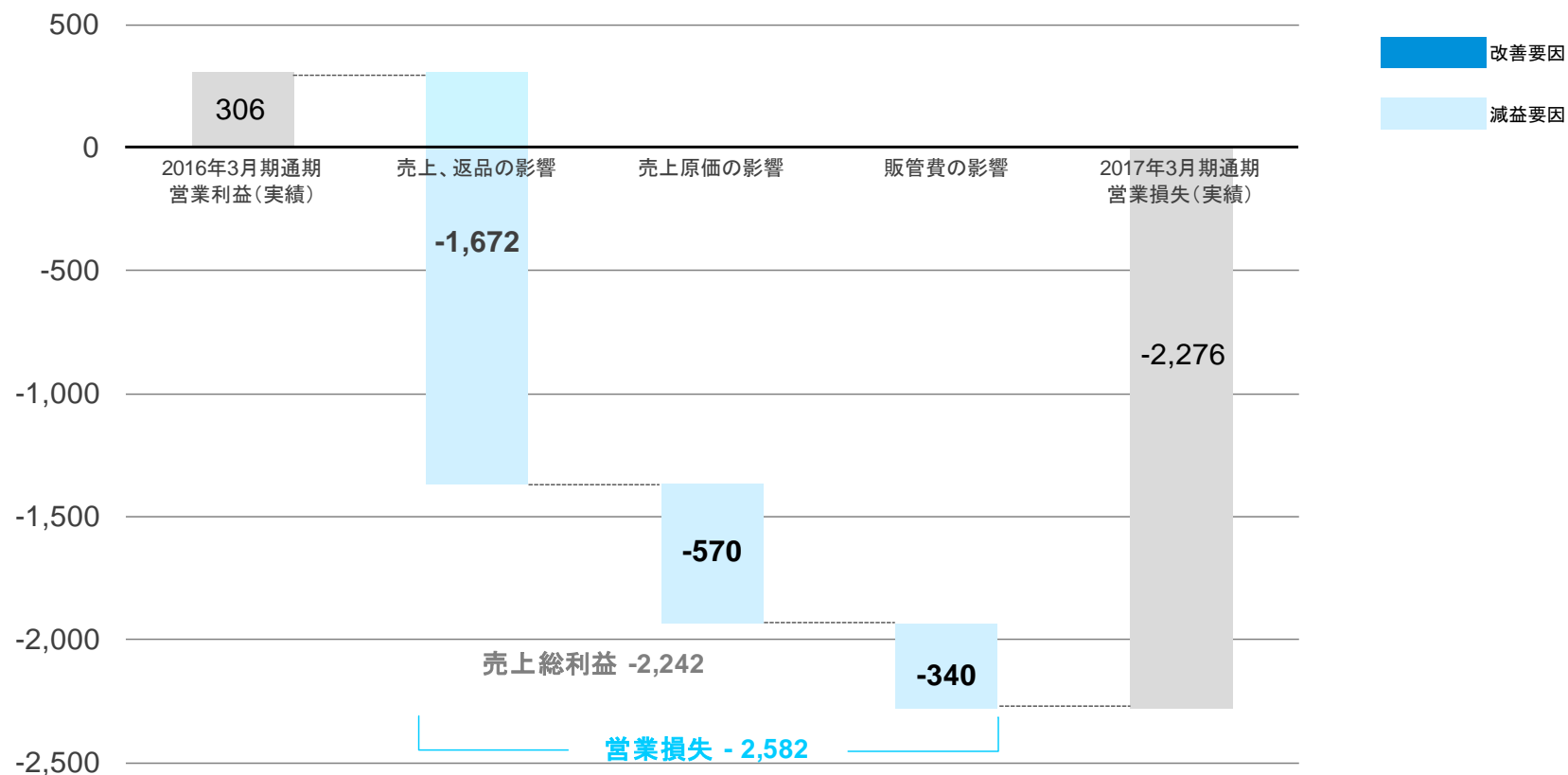
単位：百万円

市販出版物売上高合計	8,158	7,363	6,472	7,950	5,876
地図	3,470	3,165	2,318	3,206	2,086
雑誌	3,238	3,045	2,949	3,281	2,876
ガイドブック	1,432	1,121	1,173	1,246	811
実用書	16	29	31	214	102
市販出版物返品率	32.8%	32.9%	39.4%	30.7%	41.8%

# 2017年3月期 通期 営業損益の増減分析(前期比較)

大幅な売上減少、退職給付費用の増加や人事制度変更に伴う賞与引当金計上額の増加等により売上原価、販管費ともに高騰し、営業損失を計上

単位:百万円





# 2017年3月期 通期 販管費・設備投資額・償却費の状況

販管費は人事制度変更に伴う賞与引当金繰入額の増加などに伴い、前期比で3億40百万円の増加。設備投資は主にインバウンド事業強化のためのシステム投資を実施。

単位:百万円

	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期実績	増減額	増減率
売上高	13,035	10,314	-2,720	-20.9%
販管費合計	4,068	4,409	340	8.4%
販売促進費	150	140	-10	-6.8%
広告宣伝費	210	176	-33	-15.8%
従業員給与・賞与	1,520	1,462	-57	-3.8%
賞与引当金繰入額	157	366	208	132.6%
退職給付費用	71	137	65	91.0%
減価償却費	100	92	-8	-8.0%
研究開発費	98	67	-30	-31.1%
その他	1,759	1,965	206	11.7%
設備投資額合計	611	686	74	12.3%
有形固定資産	43	59	15	35.9%
無形固定資産	567	626	59	10.4%
償却費合計	328	429	101	30.8%
有形固定資産	182	171	-11	-6.1%
無形固定資産	146	258	112	76.6%

# 2017年3月期 通期 連結貸借対照表

当期純損失計上に伴い流動資産の構成比が減少。

単位:百万円

	2016年3月期 3月末		2017年3月期 3月末		増減額	増減主要因
	実績	構成比	実績	構成比		
資産合計	28,063	100.0%	24,550	100.0%	-3,512	
流動資産	17,191	61.3%	14,528	59.2%	-2,662	現金及び預金、受取手形及び売掛金、有価証券の減少
固定資産	10,871	38.7%	10,022	40.8%	-849	減損処理の実施に伴うソフトウェアの減少
負債合計	6,410	22.8%	5,390	22.0%	-1,020	
流動負債	4,202	65.6%	4,113	76.3%	-88	
固定負債	2,207	34.4%	1,276	23.7%	-931	新株予約権付社債の株式転換による社債の減少
純資産合計	21,652	77.2%	19,160	78.0%	-2,492	
株主資本	21,293	98.3%	18,524	96.7%	-2,768	親会社株主に帰属する当期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少
その他の包括利益累計額	332	1.6%	608	3.2%	276	
新株予約権	27	0.1%	27	0.1%	0	
負債・純資産合計	28,063	100.0%	24,550	100.0%	-3,512	

# 2017年3月期 通期 連結キャッシュ・フロー計算書

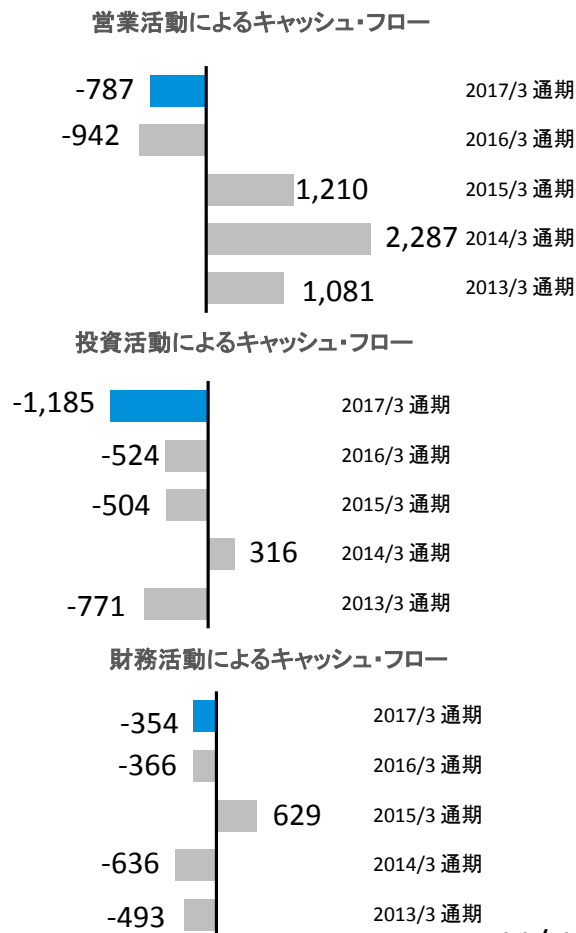
売上高の大幅な減少を主な要因として営業キャッシュ・フローはマイナス

	2016年 3月期 通期実績	2017年 3月期 通期実績	増減額	増減主要因
営業活動による キャッシュ・フロー	-942	-787	155	税金等調整前当期純損失の増加 -3,961 売上債権の減少額 +2,088 減損損失 +1,203
投資活動による キャッシュ・フロー	-524	-1,185	-660	有価証券償還による収入 +800 定期預金の払戻による収入 -600 有価証券の取得による支出 -1,303
財務活動による キャッシュ・フロー	-366	-354	12	
現金及び 現金同等物の 増減額(－は減少)	-1,832	-2,326	-493	
現金及び 現金同等物の 四半期末残高 ※	9,949	7,899	-2,049	

単位:百万円

キャッシュ・フロー 過去5年間推移

単位:百万円



※新規連結子会社の現金及び現金同等物の増加額 276百万円を含んでおります

# 資料の内容

1 2017年3月期 通期 連結決算概要

---

2 2018年3月期 通期 業績の見通し

---

3 参考資料

# 2018年3月期 通期 業績の見通し(前期比較)

市販出版物の積極的な新刊出版と市場在庫管理による返品削減、『マップルナビ』の業務ナビゲーションへの展開、インバウンド事業に注力することで黒字達成を目指す。

単位：百万円

	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期予想	増減額	増減率
売上高	10,314	11,600	1,285	12.5%
営業利益（営業損失） （売上高比、以下同）	-2,276 -22.1%	80 0.7%	2,356	-
経常利益（経常損失）	-2,206 -21.4%	120 1.0%	2,326	-
親会社株主に帰属する 当期純利益（親会社株主に 帰属する当期純損失）	-3,423 -33.2%	100 0.9%	3,523	-
1株当たり当期純利益（円）	-205.46	5.50	210.96	-
設備投資額合計	686	315	-371	-54.1%
有形固定資産	59	85	25	42.5%
無形固定資産	626	230	-396	-63.3%
償却費合計	429	270	-159	-37.2%
有形固定資産	171	120	-51	-29.9%
無形固定資産	258	150	-108	-42.0%
研究開発費	67	55	-12	-18.9%

# 2018年3月期 通期 分類別売上高の見通し(前期比較)

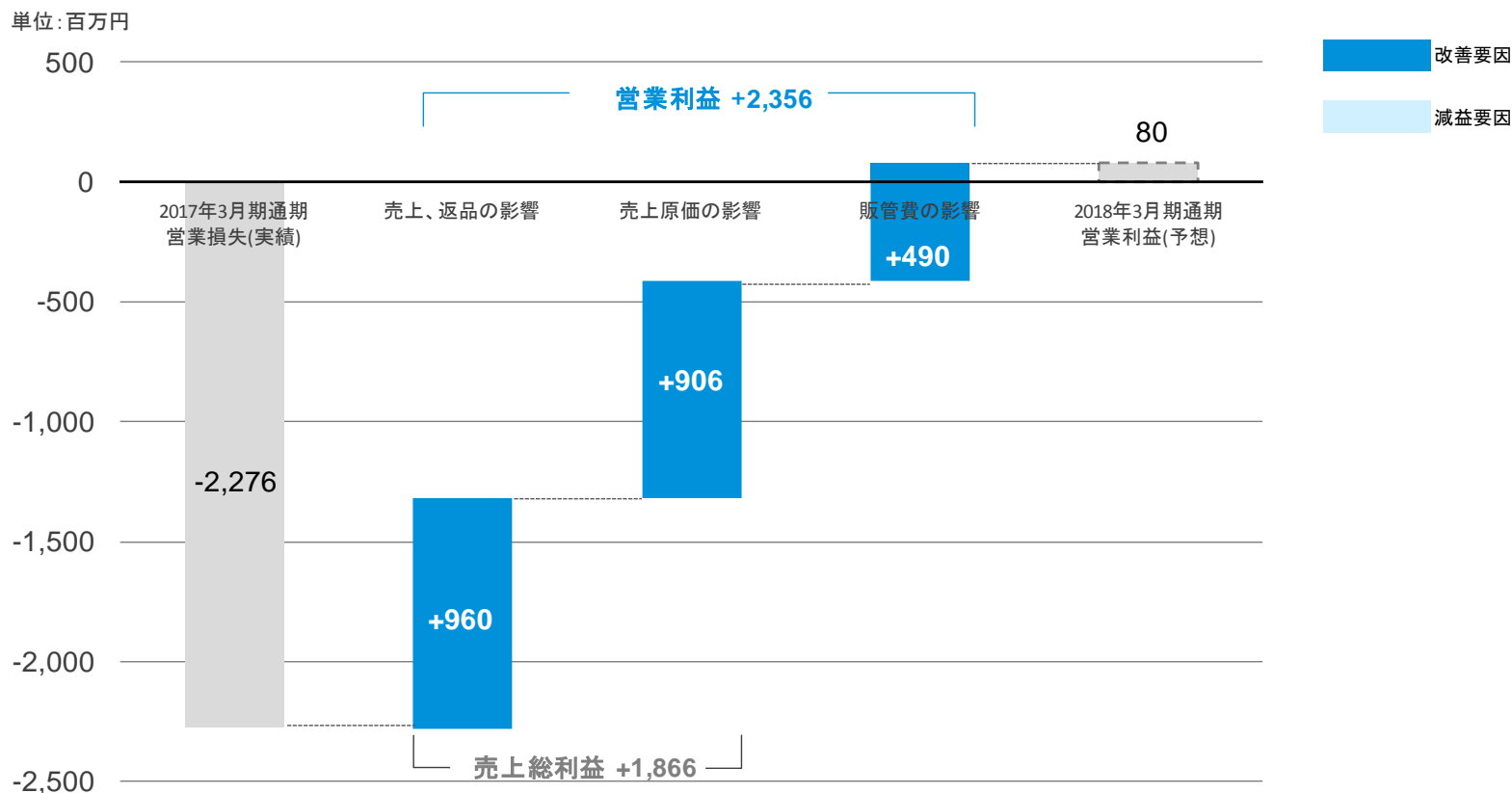
市販出版物は雑誌の新刊シリーズ投入と返品抑制により増収見込み。

	2017年3月期通期		2018年3月期通期		増減額	増減率
	実績	構成比	予想	構成比		
電子売上	2,842	27.6%	3,140	27.1%	297	10.5%
手数料収入	39	0.4%	110	0.9%	70	176.0%
市販出版物合計	5,876	57.0%	6,820	58.8%	943	16.1%
地図	2,086	20.2%	2,450	21.1%	363	17.4%
雑誌	2,876	27.9%	3,420	29.5%	543	18.9%
ガイドブック	811	7.9%	840	7.2%	28	3.6%
実用書	102	1.0%	110	0.9%	7	7.1%
特別注文品	736	7.1%	740	6.4%	3	0.4%
広告収入	818	7.9%	790	6.8%	-28	-3.5%
合計	10,314	100.0%	11,600	100.0%	1,285	12.5%

単位:百万円

# 2018年3月期 通期 営業利益の増減分析(前期比較)

前期特殊要因(メンテナンス費、賞与引当金、貸倒引当金)がなくなることに加え、売上の拡大、返品的大幅減少及び制作拠点の集約と内製化による効率化により、営業利益黒字達成が目標



# 資料の内容

1 2017年3月期 通期 連結決算概要

2 2018年3月期 通期 業績の見通し

---

3 参考資料

---



# 当社グループ概要

当社グループは当社、連結子会社4社、持分法適用関連会社1社および持分法非適用関連会社1社の計7社で構成(2017年3月31日現在)

当社	社名	株式会社昭文社
	創業	1960年5月
	設立	1964年6月
	社員数	394人(2017年3月31日現在)
	上場市場	東京証券取引所 市場第一部
	本社所在地	東京都千代田区麴町三丁目1番地
	事業内容	当社グループは、独自開発による地図データ・ガイドデータを中核とし、それを活用した地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作及び出版販売や、デジタルデータベースの企画・制作・販売及びそれらを活用したサービスの提供等「地図・旅行情報提供事業」を展開しております。

連結子会社	社名	キャンバスマップル株式会社 ※1	株式会社マップル・オン	株式会社昭文社デジタルソリューション ※2	株式会社トリブコン
	出資比率	100%	100%	100%	100%
	事業内容	カーナビゲーション用 地図ソフトウェアの 開発・企画制作・販売	モバイル(携帯・スマートフォン) 向けアプリケーションソフトの 企画開発・販売及び Web広告事業	当社電子事業である データベースの企画・制作	旅行関連プラットフォーム 提供事業

※1 平成29年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併を行いました。

※2 平成29年4月1日付で商号を株式会社昭文社クリエイティブに変更しております。

# 2017年3月期 グループ主要トピックス

1Q

2Q

3Q

4Q

A

B

C

D

E

F

G

## A 無料観光ガイドアプリ「DiGTAIWAN!」をリリース (5/26発表)

・日本を含む近隣のアジア諸国から台湾を訪れる旅行者をターゲットとした観光ガイドアプリ

・5言語(日本語、中国語[繁体字、簡体字]、韓国語、英語)に対応



## C 『首都圏発 日帰り 大人の小さな旅』発売から3ヶ月で10万部突破 (7/14発表)

・思い立ったらすぐ行ける大人のおでかけ提案型ガイドブック

・電子書籍版も発売



## D 地図配信サービス「MappleAPI 多言語マップ(ベクトル配信型)」販売開始 (9/8発表)

・日本語と複数言語の切り替え、併記表現に加え、地図の回転は俯瞰表示も可能

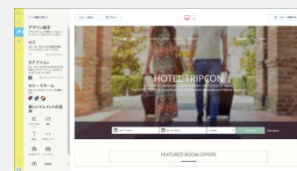
・外国人にも日本人にもわかりやすい地図表現



## E 宿泊施設向けプラットフォーム「トリブコンビズ」発売 (11/22発表)

・国内の宿泊事業運営に必要なツールを簡素化・自動化し、一元管理を可能にするプラットフォーム

・訪日客の集客に必要な機能も充実



## F 合弁会社QF Pay Japan株式会社を設立 (11/25発表)

・WeChat Payをはじめとするモバイル決済事業を日本で展開することが目的

・当社の出資比率は20.10%

## G 海外旅行者向けレストラン予約サービス「グルヤク」を譲受け (3/17発表)

・当社旅行関連事業との親和性も高く、相乗効果を期待

・本事業モデルを活用し新たなサービス提供を目指す



## 人気ガイドブック「ことりっぷ」シリーズ国内版リニューアル (7月、2月)

・働く女性が週末に行く小さな旅を提案したガイドブックで、累計1,500万部突破した人気シリーズ

・リニューアル(改訂)は7月に18エリア、2月に16エリアの計34エリア



# 注意事項

本資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは発表日現在において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、多様な要因によって、これらの業績見通しと大きく異なる結果になりうることをご承知おき願います。

これらの業績見通しに全面的に依拠して、投資判断を行うことは控えられますようお願いいたします。